

2021 年度日本音楽教育学会 第 1 回近畿地区例会のお知らせ（第 2 次案内）

京都大会実行委員会企画「オンラインで発信する能の学習/ 指導—教育実践のケーススタディと提案：
能《敦盛》を例に—」～プロローグ～

日時：9 月 5 日（日） 14：00～（zoom によるオンライン開催）

日本音楽教育学会近畿地区では、2021 年度第 1 回例会を、10 月 16/17 日の京都大会（オンライン開催）に向けて、大会実行委員会企画「オンラインで発信する能の学習/ 指導—教育実践のケーススタディと提案：能《敦盛》を例に—」のプロローグと位置づけた例会を開催いたします。進行は奥忍会員のガイドの下、ゲストには能楽師（観世流シテ方）、河村晴久氏をお迎えし、同志社中学校のご協力も得た豪華企画となっております。

会員のみなさまにおかれましては、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。また、周囲に関心がある方がおられましたら、広くお声がけいただけますと幸いです。

■プログラム■

- ① 同志社中学校の教員による能の事前授業報告
- ② 能の「なぜ？ どうして？ どうしたら？ —中学生からの質問を含めて—」
- ③ 中学生を対象としたワークショップ—《敦盛》の謡い実技学習
- ④ 学会員を対象としたワークショップと中学生の能学習に関する議論

第 52 回京都大会では、これらを基に 能の学習/指導力育成の視点からの質疑応答に推し進める予定です。

■概要■

各プログラムの目の付け所は、以下のとおりです。

- ① では、「能学習で是非伝えたい」という授業担当者の思いがヒシヒシと伝わるような授業でした。画像資料も豊富に用いられていますので、学会員や学校で実際に指導されている先生方にも多いに参考にしていただければと思います。
- ② では、誰もが不思議に思い、理由を知りたいと思われるような能の疑問について解明していきます。
- ③ では、教科書に掲載されている「謡い」の部分を中心に、中学生を対象にしたオンライン学習を覗きます。教材には新しく作成したものを使用します。
- ④ では、③で取り上げた同じ部分を謡う学習を体験し、学習方法の長所や改善点など、忌憚のない意見をお出しいただき、参加者と一緒によりよい能の学習/指導を探究します。

* 授業をされた同志社中学校の相模浩史氏にもご参加いただき、授業実施のポイントなども伺いたいと考えています。

■参加申込■

2021 年 8 月 30 日までに、下記までお申込みください。当日の zoom リンクご案内を最終案内としてさしあげます。申し込みをしたにもかかわらず、9 月 4 日までに最終案内がお手元に届かない場合は、恐れ入りますが、下記問い合わせ先までご連絡ください。

申し込み・問い合わせ先：笹野恵理子 sasano@ss.ritsumeii.ac.jp

日本音楽教育学会近畿地区
村尾忠廣 杉江淑子 ○笹野恵理子（○は近畿地区担当）